

平成27年度 福島大学大学院人間発達文化研究科入試問題

専攻(領域)名	教職教育(カリキュラム開発)	科目名	理科教育学	受験番号	
---------	----------------	-----	-------	------	--

- 【1】 中央教育審議会は、平成25年4月25日に「第2期教育振興基本計画について(答申)」を取りまとめた。この答申では、「グローバル化や少子化・高齢化など社会の急激な変化」や「東日本大震災からの教訓」などから、今後5年間に実施すべき教育上の方策にふれている。その中で、基本施策1として「確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実」をあげ、【基本的な考え方】を以下としている。

【基本的な考え方】

- 子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む態度などの確かな学力を身に付けさせるため、教育内容・方法の一層の充実を図る。その際、特に、自ら課題を発見し解決する力、他者と協働するためのコミュニケーション能力、物事を多様な観点から論理的に考察する力などの育成を重視する。
- このため、グループ学習やICTの活用等による協働型・双方向型の授業への革新、学校と家庭・地域との連携の推進を図りつつ、新学習指導要領を着実に実施する。また、高等学校段階においては、高校生としての基礎的・基本的な学力を確実に身に付けさせるため、生徒の学習の到達度を適切に把握する仕組みを導入するなど、高等学校教育の質保証に向けた取組を進めるとともに、各学校における地域の実情や生徒の実態を踏まえた育成すべき資質・能力に応じたきめ細かい施策を講じる。

中央教育審議会『第2期教育振興基本計画について(答申)』平成25年4月25日より

問 このような考え方が求められている背景について、具体的な例にふれながら論じなさい。

平成27年度 福島大学大学院人間発達文化研究科入試問題

専攻(領域)名	教職教育(カリキュラム開発)	科目名	理科教育学
---------	----------------	-----	-------

受験番号	
------	--

【2】 現行の学習指導要領(小・中学校:平成20年3月,高等学校:平成21年3月改定)への移行にあたっては,教育内容の主な改善事項として,言語活動の充実,理数教育の充実などが示された。

問 これを踏まえ,理科における取り扱いはどのようなものが考えられるか。具体例および留意点にふれながら論じなさい。